

審議会等の議事概要

第5回岐阜市庁舎のあり方検討委員会	
開催日時	平成26年6月3日（火）午後5時57分から午後7時52分まで
開催場所	岐阜市役所本庁舎低層部4階 全員協議会室
議題	<p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第4回委員会での委員意見に関する報告 <ol style="list-style-type: none"> ア) 市民アンケートの自由記述の分析と対応 イ) 他都市庁舎の特色ある取り組み事例 ウ) 過去の建設工事費の変動と新庁舎建設費への影響 2 新庁舎の機能と規模について <ol style="list-style-type: none"> ア) 機能 イ) 規模 3 新庁舎の建設候補地について 4 その他
出席委員	<p>杉戸 真太委員長（岐阜大学理事兼副学長）</p> <p>海道 清信副委員長（名城大学都市情報学部教授）</p> <p>岩瀬 裕之委員（岐阜工業高等専門学校環境都市工学科教授）</p> <p>山田 英治委員（岐阜商工会議所専務理事）</p> <p>多田喜代則委員（岐阜市自治会連絡協議会副会長）</p> <p>野々村 潔委員（岐阜市消防協会会長）</p> <p>松井 逸朗委員（岐阜市身体障害者福祉協会会長）</p> <p>篠田 洋子委員（岐阜市民生委員・児童委員協議会副会長）</p> <p>岩間 尚子委員（前岐阜市PTA連合会副会長）</p> <p>金森喜久雄委員（岐阜市青少年育成市民会議会長会副会長）</p> <p>棚橋 敏彦委員（公募）</p> <p>梅田 榮二委員（公募）</p> <p>高木 智委員（公募）</p>
公開の可否 （非公開理由）	公開
傍聴人の数	10人
審議概要	<p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 第4回委員会での委員意見に関する報告 事務局から前回委員会における委員からの市民アンケートの集計等に対する意見に関する報告。 <p>委員の主な意見は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ建替えが不要なのか理由が書いてあったのでしたら紹

介していただけないでしょうか。

⇒ただ不要であるとしていただけのご意見もありましたし、もったいないからやめるようにというご意見もございました。

- ・紹介された他都市の庁舎は、市街地のどの辺りに位置しているのか教えていただきたい。

⇒滝川市は駅から約1キロメートルで徒歩11分、福島市は駅から約2キロメートルで徒歩23分、甲府市は駅から400メートルで徒歩6分、甲府市は人口19万9千人で駅から徒歩6分の位置にそれぞれ位置しております。

2 新庁舎の機能と規模について

事務局から前回委員会における委員の意見等を踏まえた新庁舎の機能及び規模に関する資料について説明。その後、審議が行われ、委員会としての意見を事務局で整理をし、次回会議に案として提示することが決められた。

委員の主な意見は次のとおり。

- ・庁舎の規模について、様々な要素があるが、41,000㎡はいろいろな基準からいっても下限に近いことを考えると、これまでの算定による規模を前提として、その中で庁舎の内容、使い方を十分に考えていくとかそういう書き方の方がよいのではないかと思う。
- ・面積は少なければ少ないほど予算的にはいいに決まっているが、将来需要が見込まれる場合や市民のいろいろな要望を取り入れるためには、決して41,000㎡に留める必要はないと思う。
- ・機能確保の点から規模を累計するとどのくらいになるのか。
⇒基本設計の段階でどのような機能を持つかという中で、それを落とし込んでいくという形になると考えておりますので、現時点でどのくらいになるかということにはちょっとお答えできない。
- ・岐阜らしさをどうやって出すか。そういうものに重きを置きたい。
- ・どんな建物を考えているのか。
⇒想定という形になろうかと思いますが、新庁舎を現敷地で建替えるということになりますと、西側の駐車場辺りに建てる形になりますので、20階くらいの高さの建物になろうかと思っております。それから、岐大跡地の方ですと、これも20階弱程度というふうに思っております。
- ・個人的には、約31,000㎡の一宮市の新庁舎を見させていただいて狭いという印象はなかった。41,000㎡という値がどうなのかというのを感じた。
⇒職員数が、岐阜市の方が1,600人、一宮市の方が1,150人ということで差があるのが一番大きいと考えています。
- ・人口などで割り出した広さは抽象的であり、いろいろな要望を受けて機能を積んでいくとどうなるのかというのを

我々は注目していくべきではないか。

- ・今無いような機能が加わるということももっと考えるべきでないか。

3 新庁舎の建設候補地について

事務局から前回委員会において委員から意見等を踏まえた建設候補地に関する資料について説明。その後、審議が行われた。委員の主な意見は次のとおり。

- ・候補地の検討をするにあたって、現敷地以外に移転する場合は跡地の利用も同時に議論すべきではないかと思う。
⇒おそらく10年くらいのプロジェクトになるのではないかと考えておりますが、にぎわいの創出という構想を市民の皆様のご意見をお聞きしながら策定していく形になりますので、ご指摘の点も十分に視野に入れてまいりたい。
- ・最終的に総合評価で「現庁舎敷地」と「岐大医学部等跡地」に◎が付いているが、「岐大医学部等跡地」が総合的に視て、より適していると考えます。
- ・岐大医学部等跡地の県所有地はどうなるのか。
⇒覚書を結んでおりますので、今年度中に所有権を譲渡していただけるものと考えております。
- ・岐大医学部等跡地では、ワンフロア5,000㎡とした場合、必要な床面積とされる41,000㎡を割ると8階建て程度になると、推測するが20階弱の建物になる理由は何か。
⇒北側の「みんなの森 ぎふメディアコスモス」と周辺への日影の関係があり、基本的にはそのまま積み上げるのではなくて、上の方が細くなるだろうと考えております。
- ・岐大医学部等跡地の先行工事との景観上の配慮とは何か。また、平面駐車場を確保するスペースが少ないというのは立体駐車場を整備すれば解消されるのか。
⇒景観上の配慮とは、ぎふメディアコスモスのデザインをまったく無視したものを建設することはできないということです。また、駐車場は、立体駐車場を造らなければ、必要数を確保できないという意味でございます。
- ・駐車場の380台は十分な台数ということでよいか。
⇒混雑の少ない本庁舎西側駐車場程度の回転率にするためには380台程度の駐車場が必要と考えております。
- ・消防本部が近くにあるから現庁舎敷地も、岐大医学部等跡地も賛成ですが、この2つを比較したときに、岐大医学部等跡地への建設の場合は39億円という基金が活用できるのでしたら、それで十分ではないかなと思います。
- ・岐大医学部等跡地がよいと思う理由に、メディアコスモスとの一体的な利用ができるというのは非常に大きな利点だと思います。

4 その他

次回委員会の日程調整を後日行うことを確認。

会議録(全文)の有無	有 (詳細は、事務局へお問合せください)
事務局 (担当室)	岐阜市行政部管財課 TEL : 058-214-6558 (直通) FAX : 058-262-4554 E-mail : kanzai@city.gifu.gifu.jp